

大槌町旧庁舎を3D画像で保存

被災した大槌町の旧役場庁舎が、精密な3次元画像として保存されました。町と連携を深める東京大学で、碓川大槌町長も出席して



記者会見が開かれ、大槌の復興・発展を目指すための事業の発足が発表されたあと、議論の末「一部保存」に決まった大槌町の旧役場庁舎の3次元画像が公開されました。東京大学では360度を収めるカメラを使って庁舎の内外を細かく撮影。精密な3D画像として保存しました。ゴーグル型のディスプレイやタブレット端末を使うと、建物内を自由に歩き回ることができます。東京大学と町は今後、町民の意向を確認しながら画像を記憶の風化防止や交流人口の拡大に役立てたいとしています。(7/12)

五島列島のツバキが大船渡へ

長崎県の五島列島から1800キロの長旅をしたツバキが大船渡市に贈られ、植樹が行われました。大船渡市に贈られたのは



日本有数のツバキの自生地、長崎県新上五島町のツバキ苗、1000本です。今年2月、沖縄で行われた全国椿サミットの際に交流したのが縁で、復興の一助になれば、と寄贈されました。(7/12)

陸前高田発

「奇跡の一本松駅」が登場

陸前高田市の「奇跡の一本松」近くに、夏限定で「奇跡の一本松駅」が設置されました。



「奇跡の一本松駅」は、BRT=バス高速輸送システムで仮復旧した、JR大船渡線の臨時の駅で、一本松から500メートルほど離れた国道沿いに設置されました。これまでは最寄りの駅から徒歩30分ほどかかっていたものが10分程度に短縮になりました。「奇跡の一本松駅」は夏限定で、来月までの土日祝日やお盆期間などに日中、上下合わせて10本が停車することになっています。(7/14)

大船渡発

3年ぶりの復活！気仙神輿祭

津波で被災した大船渡市内の街中を3年ぶりに神輿が練り歩きました。気仙神輿祭が14日行われ街は活気づき



ました。気仙神輿祭は大船渡市盛町で50年以上前から行われています。神輿自体は津波の被災を免れましたが震災後は祭りを自粛してきたため3年ぶりの復活です。勇ましく神輿をかつぐのは県内各地から集まった神輿愛好家たち。およそ100人が代わる代わるかつぎ商店街は活気にあふれます。祭り関係者は「震災後初。感無量です」と話していました。(7/14)

陸前高田宮古発

さんりく元気ラジオ

今週は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、米崎町佐野上地区にある『ブルーベリー園』から中継で伝えてくれました。園を運営している佐野上集落の会



長・千葉翁さんによりますと、ここには5種類、230本のブルーベリーの木があり、平成22年から摘み取り体験を行っています。高台にあるため津波の被害も受けず、毎年家族連れなどに喜ばれているとの事です。今年も今月末まで摘み取りができますが、開園は土曜・日曜・水曜の午前9時からお昼まで、大人200円、小学生以下100円で食べ放題という事で、県内外の方も高田を訪れた際にはぜひ寄って欲しいと話していました。(7/17)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122